

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2021年 第178号 令和3年6月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

対談!

特集記事 日本武道館研修センターと市議会



特集記事(対談)	2・3P	一般質問	9～13P
5月臨時会人事	4P	きみの未来、あなたの未来	
審議結果(トピックス)	5～7P	議会のうごき 編集後記	14P
委員会活動等	7・8P		

令和3年8月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

にっぽんぶどうかん 日本武道館 研修センター と 市議会

特集記事第25回は、「日本武道館研修センター」のみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか。



日本一の武道のまちへ！

【日本武道館研修センターについて教えてください】

●日本武道館研修センターは、東京九段に有ります公益財団法人日本武道館の直営施設です。昭和42年、当時の山口吉暉市長の誘致運動により、昭和46年8月4日に開設しました。この8月4日で開設50年になります。当施設は「地域武道普及振興」を目的とした合宿施設です。全国規模の各種武道研修会をはじめとし、主催事業としては、鏡開き式・

青少年武道大会、千葉県高等学校剣道（宿泊）錬成大会、千葉県少年少女武道錬成大会、また、武道及び書道の習練による心身の鍛錬を通じて、人格を磨き健全な青少年の育成を図ることを目的とする武道学園（勝浦分園）を運営しています。当施設は客室44部屋、最大280人収容可能であり、コロナ前は年間2万人強の利用者が来館されています。また、千畳敷の大道場のほか、研修室（小道場）、弓道場、相撲道場があります。

質問 一般の方でも泊まれますか？
回答 一般の方もご利用できます。

【PRしたいことはありますか？】

●武道学園では、柔道、剣道、空手道、合気道、書道の5つの教室を運営しています。卒業生の中には、中学、高校で剣道日本一になった生徒もいます。柔道では全日本選手権準優勝。書道では、高円宮賞を受賞した生徒もおります。しかしながら、子どもが減っており、生徒数が減少しています。「武道、書道」を知らない子ども

たちや市民の皆様へのPR活動を幅広くしていきたいと思えます。

【皆さんが考える勝浦市の問題点は？】

●やはり人口減です。少子化対策や若者の雇用の奨励、交通網の整備が必要かと思えます。今はアナログからデジタル化の対応（グローバル社会）、古き良きものは文化として残り、新風を吹き込んでもらいたいです。例えば国際武道大学の学生が卒業後に居住地として考えている場合、なんらかの施策を講じることで人口増に繋がるのではないかとも思えますし、そうすることで若い人が増え活気あるまちの一助にもなると思えます。

【今後の抱負をお聞かせください】

●50周年を機に施設を更新しました。宿泊棟、道場棟も耐震補強工事を完了し、大道場も含め全館冷暖房完備し、フリーWi-Fiも設置しました。利用者に「安心、安全、快適」な施設提供を目指しています。また、当施設は海拔44mという高台に

あり、災害時にも強い施設とも云えると思えます。「コロナ終息の際には、利用者に対し最良のおもてなしを心がけ、お迎えできるように準備をしております。

【どんなまちにしていきたいですか？】

●「勝浦市は朝市・武道のまち」というキャッチフレーズを大きな柱とし、主に観光地であることを全面に出し、市内の人はもとより市外の人にも、「挨拶ができる、そして武道の根源であります礼節のある素晴らしいまち勝浦」と云っていただけるとうなまちにしていきたいと思っております。

【市議会の印象とか、議員に望むこと、市に対して望むことはありますか？】

●今回このような機会を設けていただきありがとうございます。市議会の皆様へは、日本で唯一の日本武道館直営施設はここにしかないという存在のアピールを強くしていただければ幸いです。

研修センターも50年という歴史の

中にいろいろ学んでまいりました。勝浦市、また勝浦市議会の支えがあればこそ歩んでくることができました。ありがとうございます。

これからも勝浦市を微力ではありますが盛り立てることができまよう努めてまいります。



佐久間 義輝さん



鈴木 浩子さん



端 春彦室長



市原 雅彦さん



藤江 雅之さん

**議長、副議長を選出
監査委員を選任同意
各委員会委員を選出**

令和3年5月臨時会が5月21日に開かれ、議長に松崎栄二氏、副議長に戸坂健一氏が選出されました。また、議会選出の監査委員に岩瀬義信氏を選任することに同意しました。
2年の任期満了により、新たに議会運営委員、各常任委員等が下表のとおり決まりました。



岩瀬 義信
監査委員

経歴

市議7期目・無所属 81歳
議長、副議長、建設経済常任委員会委員長などを歴任



戸坂 健一
副議長

経歴

市議3期目・無所属 44歳
総務文教常任委員会委員長、産業厚生常任委員会委員長などを歴任



松崎 栄二
議長

経歴

市議5期目・無所属 68歳
副議長、監査委員、議会運営委員会委員長などを歴任

各委員会の委員 ○副委員長

委員会名	委員長	委員名	所管事項
議会運営委員会 (7人)	 黒川 民雄	○磯野 典正 末吉 定夫 寺尾 重雄 照川由美子 戸坂 健一 丸 昭	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項
総務文教常任委員会 (8人)	 鈴木 克己	○丸 昭 磯野 典正 岩瀬 義信 黒川 民雄 照川由美子 戸坂 健一 松崎 栄二	・総務課、企画課、財政課、税務課、市民課及び会計課の所掌に属する事項 ・選挙管理委員会及び監査委員の所掌に属する事項 ・教育委員会の所掌に属する事項 ・議会事務局の所掌に属する事項 ・他の常任委員会の所管に属しない事項
産業厚生常任委員会 (7人)	 久我 恵子	○岩瀬 洋男 狩野 光一 佐藤 啓史 末吉 定夫 寺尾 重雄 渡辺ヒロ子	・高齢者支援課、福祉課、生活環境課、清掃センター、都市建設課、農林水産課、観光商工課、勝浦診療所及び水道課の所掌に属する事項 ・農業委員会の所掌に属する事項 ・税務課課税係・収納係（国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料に限る。）の所掌に属する事項 ・市民課国保年金係・健康管理係の所掌に属する事項
議会報編集委員会 (7人)	 佐藤 啓史	○狩野 光一 岩瀬 洋男 久我 恵子 黒川 民雄 鈴木 克己 渡辺ヒロ子	・議会報の編集、発行に関する必要な事項について協議する

令和3年6月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○6月定例会 会期 6月7日から6月17日まで11日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件名	付託委員会	結果
議案第26号	勝浦市郷土資料室設置管理条例の制定について	総務文教	可決
議案第28号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第29号	勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第30号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第31号	令和3年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	可決
議案第32号	令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第1号	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	総務文教	採択
議案第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	総務文教	採択
発議案第2号	勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	/	可決
発議案第3号	国における2022年度教育予算拡充に関する意見書について		可決
発議案第4号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について		可決

議会報では、市民生活と深く関わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

議案の賛否（賛否が分かれた議案のみ掲載）

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			鈴木 克己	狩野 光一	渡辺 ヒロ子	照川 由美子	戸坂 健一	磯野 典正	久我 恵子	寺尾 重雄	佐藤 啓史	岩瀬 洋男	松崎 栄二	丸 昭	黒川 民雄	岩瀬 義信	末吉 定夫
議案第27号	勝浦市かつうら海中公園滞在型観光施設設置管理条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席（棄権）、「除」は除斥、「－」は議長を表します。

※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

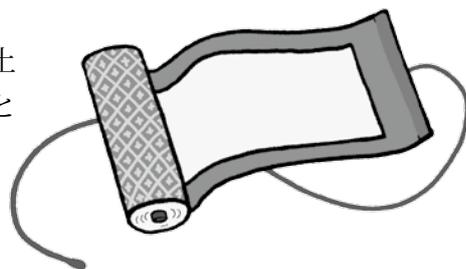
●トピックス その1

勝浦市郷土資料室設置管理条例が制定されました。

本条例は、「勝浦市郷土資料室」の運用と管理に関する事項を定めるものです。

「勝浦市郷土資料室」は、郷土に関する考古資料、歴史資料および民俗資料ならびに美術工芸品の展示を通じて、勝浦市における学術の発展と文化の振興を目的に、現在、図書館内に設置を進めており、本年9月頃のオープンを予定しています。入室は無料とし、恒設の展示に加え展示イベント等を企画する予定です。

なお、設置に関わる費用は、昨年糸久氏より「勝浦市の郷土資料、歴史資料などの整理・保管の利活用に役立て欲しい」とお寄せいただいたご寄付を活用させていただきます。



●トピックス その2

国民健康保険税が引き下げられます。

令和2年度の国民健康保険特別会計の決算見込みで1億1,400万円の留保財源が増加する見込みとなり、財政調整基金の1億円と合わせて2億1,400万円の財源となりました。

この黒字化の要因として

保険税の収納額が想定ほど落ち込まなかったこと

県の特別交付金が増額したこと

コロナ禍において、保険事業での歳出が抑制されたこと

などがあげられます。

今後の予測を踏まえ、加入者の皆さんの負担軽減を図るために引き下げを行いました。

区 分		改 正 前	改 正 後	比 較
基礎課税額 (医療給付費分)	所得割	7.1%	6.9%	△0.2%
	均等割	23,900円	22,200円	△1,700円
	平等割	19,900円	18,000円	△1,900円
	限度額	630,000円	630,000円	増減なし

●トピックス その3

感染拡大防止対策事業 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

1. サーモグラフィーカメラ（非接触式体表面感知器） 27万5千円×5台=137万5千円
 - ①勝浦診療所
 - ②かつうら聖苑
 - ③図書館
 - ④興津集会所
 - ⑤芸術文化交流センター
2. サニタリー用品（生理用品の確保が厳しい女性・女子への）無償支給事業 75万2千円
100セット（中学校）600セット（一般）
3. その他
 - ①PCR検査の検体採取および新型コロナウイルスワクチン接種における
夷隅医師会への夷隅郡市2市2町の分担による支援金 656万5千円
 - ②かつうら聖苑に設置する手指消毒薬のオートディスペンサー5台分 1万2千円
 - ③教育活動における感染拡大防止のための消耗品購入及び
修学旅行等が中止になった際のキャンセル料金に要する経費
小学校 98万3千円
中学校 84万円
 - ④図書館来館者の感染拡大防止対策のため、自動ドアの改修及び
蔵書殺菌等に要する経費 312万3千円

※オートディスペンサーとは、手指消毒用の自動消毒液噴霧器です。

常任委員会等の活動報告

勝浦市議会観光振興議員連盟

朝市の活性化に関する意見書を提出

勝浦市議会観光振興議員連盟（会長：佐藤啓史）は、5月21日（金）に、土屋元市長に、朝市の活性化に関する意見書を提出しました。
意見書の内容は下記の通りです。

1. 朝市への来客者を誘導するための看板・のぼり旗の設置及びポスターの掲示

- ①国道128号・297号沿いに看板の設置
- ②墨名、出水駐車場から朝市への誘導看板及びのぼり旗の掲出
- ③近隣自治体の観光施設、集客施設へのポスター掲示
- ④上記施策推進のための朝市キャラバンの実施

2. 組織活性化、事務事業の充実のための人員配置

- ①朝市担当地域おこし協力隊の増員

3. 朝市客誘導・動線確保と新規出店者の店舗枠の確保

- ①夢テラス前の空き地の活用



総務文教常任委員会

- ・議案第26号 勝浦市郷土資料室設置管理条例の制定について
- ・議案第28号 勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第31号 令和3年度勝浦市一般会計補正予算

以上3件の議案については、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

- ・請願第1号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願
- ・請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

以上2件の請願については、採択すべきとし、最終日に意見書案を可決し関係官庁に対し意見書を提出することとなりました。

補正予算で提案の中に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として、以下の提案がありました。

- ①サニタリーサポート事業に75万2千円。経済的事情により生理用品の確保が厳しい女性、女子（児童・生徒）への無償支給事業。
- ②勝浦診療所に設置するサーモグラフィーカメラ購入経費に27万5千円。
- ③感染拡大防止対策事業に656万5千円。コロナ関係で協力いただいている夷隅郡市医師会に対する支援金。
- ④かつうら聖苑に設置するサーモグラフィーカメラ1台及び消毒用オートディスペンサー5台購入経費に28万7千円。

※オートディスペンサーとは、手指消毒用の自動消毒液噴霧器です。

産業厚生常任委員会

- ・議案第27号 勝浦市かつうら海中公園滞在型観光施設設置管理条例の制定について
- ・議案第29号 勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第30号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第32号 令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算

産業厚生委員会には、以上4件が付託され、6月15日委員会を開催。

審議の結果、最終日の本会議において、委員長からの審査結果報告後、採決を行い、議案第27号は賛成多数、議案第29号、議案第30号、議案第32号は、全会一致により「可決」となりました。

市政の窓口が聞きたい

一般質問



6月9日・10日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

6月10日				6月9日					
寺尾 重雄 議員	鈴木 克己 議員	戸坂 健一 議員	佐藤 啓史 議員	磯野 典正 議員	照川由美子 議員	渡辺ヒロ子 議員	狩野 光一 議員	久我 恵子 議員	
①勝浦市元北中学校グラウンドの活用方法について				①広報かつうらについて ②奨学金制度について				①新型コロナウイルスワクチン接種予約について ②ごみ処理事業継続に対する市の対応について ③かつうら海中公園再生事業について	①新たな観光施設の創出について
①(仮称)かつうら海中公園再生計画について				①子育て支援について ②通学路について				①本市における人口減少の現状と対策について	

一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



久我恵子議員

新型コロナウイルスワクチン接種予約について

Q 勝浦市においても、5月11日よりワクチン接種が開始された。65歳以上の高齢者の予約開始時は、電話が繋がりにくく、多くの市民より苦情があった。7月中旬からは基礎疾患のある方、一般の方の予約が始まる。65歳以上の高齢者の時のような混乱を避ける為、あらかじめ日にちを指定し、都合の悪い方のみ変更をする「日にち指定」を採用する考えはないのか。

A 日にち指定方式による予約方法は、実施した市町村で大きな混乱もなく日程調整ができたとの報道もあり、庁内で議論

もされた。しかし、この方法では、予約時の混乱が少ないといったメリットがある一方、今後一般の方では、市の集団接種以外の選択肢があることから、当日来ないで無断でキャンセルすることが懸念される。当日のワクチン準備にも影響が出てしまうことから、ご自身の希望で予約を取る方法にする。

Q ワクチン接種の対象となる12歳から18歳までの多くが学生と思われる。接種を夏休み期間中に完了できないか。また、キュステまで連れてくる保護者にも同時に接種できないか。

A 接種を希望する学生が、夏休み期間中に2回の接種が終えられるよう学校と協力して体制を整えたい。その際は、同伴する保護者で接種の希望者には同時に接種できる

ように検討したい。

Q 集団接種の概の終了時期とそれ以降の接種希望者への対応について。

A 65歳以上の高齢者の接種は高齢者施設入居者を含め約6550人が7月中に終了する。これは勝浦市の65歳以上の高齢者7700人の85%の方が、接種を完了することになる。基礎疾患のある方、一般の方の集団接種は8月上旬に開始され、10月中に終了予定。それ以降の接種希望者は今後、関係医療機関と検討する。





狩野光一議員

ごみ処理事業継続への対応について

Q「第10次千葉県廃棄物処理計画」が策定・公表されたことを受けて、今後に対する市としての具体的な動き、または方針や構想があればお聞きしたい。

A具体的な動きは無く、基本的な方針も決定していない。県の計画には「処理の広域化」「施設の集約化」が挙げられており、老朽施設を抱える市町村との意見交換が予定されており、これらを通じて近隣市町とともに検討したい。



市内交通の拡充について

Q過去の質疑答弁にあった、住民ニーズを把握するためのアンケート調査の結果をお聞きしたい。

Aデマンドタクシー利用者アンケートを利用者に対して、7月もしくは8月に実施する予定であり、その後分析・評価等を行うことになる。

Q利用者対象のアンケートでは、サービス向上の資料にはなるが、利用地域拡大の検討資料にはならない。未通地域の住民ニーズを把握する手段が必要ではないか？

A市内全域を対象とする調査も必要と感じる。例えば、広報かつうらでご意見を募集する。もしくは、総合計画アンケートに多くのご意見があれば、施策に反映させたいと考えている。

かつうら海中公園再生計画について

Q第2期以降の事業に対する交付金の見通し、事業の方向性、スケジュール感をお聞きしたい。

A事業は、かつうら海中公園の再生を基本とし、観光、農林水産業の振興、地域の活性化に効果的なものとする方針だが、本年度事業の経過や周辺施設の整備状況を見据えて、次の展開を検討する。スケジュールや国庫補助金の活用は、この中の検討事項になる。

Q次の展開を検討するにあたり、委員会等の検討機関を設ける予定はあるか？

Aまずは庁内会議、審議会等で協議・検討を進めるが、必要に応じて、新たな検討委員会等の設置も検討していく。



渡辺ヒロ子議員

新たな観光施設の創出について

Q勝浦が抱える人口減少問題を少しでも抑え、交流人口の増加を図るために『かつうら海中公園滞在型観光施設建設事業』を成功させ、その価値を高めるための新たな観光施設を創出することが必要である。この事業のプラン変更による①ランニングコスト②駐車場、渋滞等の対策について伺う。

Aランニングコストは年間4250万円の見込み。駐車場は海の博物館の立体駐車場で対応する。混雑期には海中公園が警備員を雇って対応する。

Qこの施設では一度に大勢の利用は厳しい。そこで周辺を含めた魅力の

拡充が必要と考える。海の博物館や展望塔とのコラボ企画。B B Q エリア、釣堀やダイビングスポットなど施策について伺う。

Aご提案内容について、関係機関と一緒に今後整備していきたいと考えている。

Q灯台はアピール性の高い施設だと注目している。海上保安庁署長から『地域活性化に役立ててほしい』という言葉を受けた。これについて市長のお考えを伺う。

A勝浦灯台は勝浦を代表するシンボル。観光資源になる可能性を持っていると思う。

A朝空マーケットは色々な企画をして成功していると考えている。この効果を見極めて今後検討していく。

Q勝浦を広くアピールし外からの人を多く呼び込めるイベントとして、クラフト展の開催を考えている。経済面や人口面での閉塞感を打破する為に、積極的な観光への拡充支援、広報活動が急務と思うが市長のお考えを伺う。

A住民の為のイベントと関係人口を増やすためのイベント、理想はその両方をやっていくこと。移住・定住に繋がるきっかけとしてイベントは必要だと考える。





照川由美子議員

本市における人口減少の現状と対策について

Q 本市の人口は3月末現在1万6千6百人を切った。この現状から今後どのような施策に力を注いでいくのか。また、雇用創出面で期待のかわる元行川アイランド跡地計画の進展にどのように関わっていくのかを伺う。

A 若者世代の減少により少子高齢化が顕著になる中、雇用の拡大・若者世代の支援・暮らしやすさの実現等の施策充実を図っていく。また、行川の跡地計画については進んでいない状況にあり、事業主体側に早期実現を働きかけていく。

Q 移住定住対策としての「移住窓口」の設置と、

地域おこし協力隊の増員について伺う。

A 6月より市観光商工課職員2名をカッピービクターセンターに常駐させ、市観光協会と連携し移住に導く体制を強化する。また、地域おこし協力隊2名の新規採用に向け、手続きを行っている。

Q 空き校舎・校庭は、交流人口の増加に寄与できる貴重な財産。企業や外部団体の見学実績と活用が決定していく進め方について伺う。

A 見学は、専門学校・通信制の高等学校・宿泊マネジメント会社・食品加工会社等。活用にあたっては地域の意見を聴取り、市有地活用検討委員会で協議していく。

Q 本市に高校がなくなつた影響は甚大。今後、これに代わる教育環境づくりが課題であり、空き校舎の一つは、教育施設

としての活用が望ましいと考える。取り組みを促進するためにも市有地検討委員会組織の見直しが必要と考えるがどうか。

A 検討委員会のあり方等の見直しについて、総合的に勘案し、庁内で検討していきたい。

Q コロナ禍、自然を満喫できるキャンプが注目されている。若者の地域志向が高まっている今、この機会をチャンスと捉え、本市の魅力PR強化に取り組んではどうか。

A 人口減少対策のひとつとして、移住パンプの作成配布等を含め、本市のPR強化を検討したい。



「移住窓口」スタート!

Q ハローワークとの連携による市内の求人情報の掲載は? また、ホームページでは公表されているが、市長の動向も掲載

広報かつらについて



磯野典正議員

Q 月1回の発行となつた広報かつらの今後の編成方針は?

A 適切な時期に、情報の正確性を確保しながら、緊急度に応じて号外の発行をするなどの確な対応に努める。

Q 勝浦市出身者が市外で活躍されている姿を特集記事で掲載できないか?

A 内容にもよるが、ご活躍されている方を載せることで市政への関心参画に有効と考えられれば検討の余地はある。

Q ハローワークとの連携による市内の求人情報の掲載は? また、ホームページでは公表されているが、市長の動向も掲載

してはどうか?

A 総合的に勘案し検討する。

Q 広報コンクールへ出展し、広報かつらが内閣総理大臣賞受賞を目指す取り組みをしてはどうか?

A 近いうちに課内会議を行い、積極的に考えてみたいと思います。

奨学金制度について

Q 若者の流出を抑えるために奨学金制度の見直しを図っていく必要があると思うが市長のご見解は?

A 令和3年4月30日現在、総人口に対する65歳以上の割合は44.7%であり、少子高齢化は進んでいる。教育の機会均等を確保しつつ、Uターンや定住促進を図る上での奨学金優遇措置は検討する必要があると考ええる。

Q 鹿児島県長島町で

行っている「ぶり奨学プログラム」は金融機関等と連携し、奨学金を利用した人が卒業後10年以内に返す基金より補填。例えば勝浦市でいえば「カツオ奨学プログラム」といった名前で、北上し脂が乗ったら帰ってこい!と

いった、地域経済に好循環を生み出す仕組みづくりであると考ええる。「カツオ奨学プログラム」を進めていただきたいが?

A 長島町の事例も踏まえて、他市の先進事例も含め検討する。



水見市はあなただけの偉りを待っています!

ぶり奨学プログラム



佐藤啓史議員

子育て支援について

Q本市の子育て支援事業の現状と課題をお聞きする。

A幼児教育・保育の無償化や認定こども園の移行をはじめ、民間委託に伴う放課後ルーム開設地域の拡大、勝浦こども園での病後児保育事業に取り組んできた。今後はニーズに応じたきめ細やかな対応に努めていきたい。

Q子育て世代の経済的支援と市内経済振興のために、(仮称)子育て支援券の配布事業を提案する。

A現段階では実施する考えはない。

Q小児医療体制の充実について、市の現状と取り組み状況をお聞きする。

A小児科を診療科目として標榜する医療機関は2医療機関であり従前と比べ減少している。引き続き国及び県への要望に加え、夷隅郡内の市町と協力体制を整えていきたい。

Q子育て支援基金の創設を提案する。

A基金の原資となる資金の保有がない。

Q勝浦こども園及び保育所の利用状況は?

A勝浦こども園が162名、上野保育所が75名、総野保育所が27名。また土曜保育の利用者は延べ756名である。

Q一時保育の利用状況は?

A令和2年度は延べ336名である。

Q病後児保育の利用状況は?

A延べ6名である。

Q放課後ルームの利用状況は?

A勝浦、興津、総野、上野、豊浜の各ルーム合計で202名の児童を受け入れている。

Q保育業務の民間委託後の課題は?

A支援員の質向上や学び発達に関するプログラムの提供など質的向上に努めたい。

Qこども館の利用状況は?

A昨年度は、乳児から高校生まで延べ1815名の利用実績である。

通学路について

Q通学路(国・県道)の除草及びグリーンベルトの整備を要望する。

A草刈りについては繁茂が著しい区間を特定し要望する。グリーンベルトについては必要な箇所は市都市建設課や夷隅土木事務所と検討・協議したい。



戸坂健一議員

民間企業から寄贈されたトレーニング機材の活用について

Q令和元年、勝浦市は民間企業よりラグビーW杯で使用された高性能トレーニング機材数百点の寄贈を受けた。しかし、未だに活用せず保管されたままである。今後の活用について伺う。

A活用について関係者と協議を進めてきたが、未活用のまま保管状態にある。今後市民の健康増進に役立てていきたいが、専門的機材もあるため、国際武道大学との連携が適切と考えている。

Q検討過程で、他自治体に譲渡する考えはあるか。寄贈者の思いをくめば、市内で活用していくのが本義だと思うが。

A他団体に譲渡する考えはない。ただし、近隣自治体との相互利用については検討したい。

Q寄贈された機材の中には電子機器を含むものもあり、点検と動態保存が大切だ。機材の点検はしているか。

A現在のところ、これ迄点検は実施していない。

Q活用のためには具体的に明確な運用方針が必要だと思いがいかがか。

A機材の利活用に関する基本方針を策定し、運用面での国際武道大学との連携やトレーナーの配置などを盛り込んだ。これに基づいてソフト面とハード面の両面、また財政状況も鑑みて事業を進めていきたい。

Q機材の活用場所について、廃校など市有地の活用についてはどのような

A寄贈者からは、有効に市民の健康増進とスポーツ振興のために使わせていただくということで寄贈を受けたが、コロナ禍において関係者との協議が停滞している。しかし、関係者との協議を図り、積極的に有効活用を進めていきたい。

Q機材の寄贈を受けるにあたっては寄贈者との協定もあり、活用することを前提で譲り受け、協議し、約束をしてきたはず、市としても柔軟かつ迅速に対応し、具体的な活用策を決定すべきでは

A寄贈者からは、有効に市民の健康増進とスポーツ振興のために使わせていただくということで寄贈を受けたが、コロナ禍において関係者との協議が停滞している。しかし、関係者との協議を図り、積極的に有効活用を進めていきたい。

Q機材の活用場所について、廃校など市有地の活用についてはどのような

A寄贈者からは、有効に市民の健康増進とスポーツ振興のために使わせていただくということで寄贈を受けたが、コロナ禍において関係者との協議が停滞している。しかし、関係者との協議を図り、積極的に有効活用を進めていきたい。

Q機材の活用場所について、廃校など市有地の活用についてはどのような



若浦勝高等学校元大原キャンパスに保管している機材の一部



鈴木克己議員

Q (仮称)かつら海中公園再生計画について

Q 国の認定プロセスでは、計画作成は、地域住民と十分連携するようにとあるが、地域住民への説明や対応はどの様にされたのか伺います。

A 市民を代表する市議会議員及び観光審議会等に計画の説明をした。

Q 再生計画を市独自で策定しているが、海中公園センターの出資母体である県及び漁協との事前協議の内容を伺います。

A 県には、令和2年11月から事業説明と手続きの協議、漁協には事前の説明した。

Q 計画書に、「整備する(仮称)かつらテラス」とあるが、この名称は、

どのような経緯でつけられたのか伺います。

A 令和2年7月に国会議員が来訪した際に、施設を「かつらテラス」としたのが始まりです。

Q 「かつらテラス」の全体計画は。

A 「かつら海中公園滞在型観光施設」を整備し、新たな観光資源を創出する。地元農水産品や土産品の消費拡大を図り観光産業の土台を作る。

Q 「かつらテラス」利用者数は、2022年の6万人から4年後には、10万5千人と推計されている。数値の根拠を示されたい。

A 過去の海中公園入込数を元に、入込数を6万人と見込んだ。各年の増加は、施設が広く認知されることによる利用者数の増を見込んだ。

Q 運営は、指定管理者制度によるとあるが、委

託業務内容を伺います。

A 業務内容は、施設維持、管理、及び運営全般とする。

Q 指定管理者に経営赤字が生じた場合の対応は。

A 議会で可決されているので、赤字になることは考えていない。



寺尾重雄議員

勝浦市元北中学校グラウンドの活用について

Q 勝浦市活性化の案として、グラウンドにサッカー場建設案に対するお考えをお伺いします。

A 元北中学校グラウンドを市営野球場用地として整備する計画がありましたが、財政の理由で繰延べしました。次期総合計画に組み入れるよう検討します。

Q 国際武道大学にあるサッカー場は1面です。元北中学校グラウンドにサッカー場は2面作れますので、ジュニアリーグを抱えている企業者の誘致に関しての考えをお伺いします。

A 企業誘致の話は、ありがたいと思えますが、

今の段階、勝浦市の財政状況を踏まえると、いきなりサッカー場2面計画は受けられないという判断でお断りした次第です。

Q 勝浦市は少子高齢化、過疎化が進み限界集落到近い状態です。サッカー場を建設し企業を誘致することで、雇用・経済効果、観光に繋がると思いますが、お考えをお伺いします。

A 「サッカー場建設は今は出来ない」ということでご理解をお願いしたいと思えます。企業のご提案はどんどん受けたいけるよう、速やかに回答できるように市役所の体質改善も含めて検討していきたいと思えます。

Q ジュニアリーグが勝浦に来て試合をする、合宿で泊まるなど経済効果は大きいと思えます。またその先には将来大きな

大会等出来るようになれば、勝浦や国際武道大学のアピールになります。「金がないから出来ない」と言いますが、市の未来を考え対応をお願いします。

A 経済効果を保てるような事業に着手していければいいと思えますし、次期総合計画で売り込んで検討していかなければ、という思いです。ありがたい企業誘致、経済効果のあるご提案は大いにうれしいですが、実現可能性、永続出来る事業につながる保証がないため、サッカー場は考えておりません。



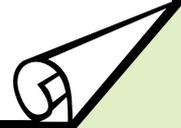
元北中学校グラウンド

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 1年
おしだり かのん
忍足 奏音 さん

私の将来の夢は、看護師になることです。少しでも人の役に立つ仕事をしたいと思っています。今、医療従事者の方々は、世界中に広まっている新型コロナウイルスの治療の最前線に立って仕事をしてくださっています。その姿を見て、私も医療関係の仕事に就きたいと思いました。看護師は、簡単な仕事だとは思いません。体力や知識、強い精神力も必要です。夢を実現させるために、これからの学校生活で、一生懸命勉強や部活を頑張っています。



議会のうごきについて報告します (令和3年5月～令和3年7月)

議会のうごき

5月13日	議会改革検討委員会・ICT分科会・オンライン研修会(鴨川市)	21日	芸術文化交流センター運営協議会
18日	議会運営委員会・全員説明会	25日	議会報編集委員会(対談)
21日	5月臨時会・議会運営委員会	7月1日	勝浦小学校(6年生)市議会社会科見学
28日	国民健康保険事業の運営に関する協議会	5日	議会改革検討委員会
6月1日	社会教育委員会議	6日	勝浦市外来漁船誘致対策協議会
2日	議会運営委員会・議会改革検討委員会	26日	議会報編集委員会
7日	本会議・全員協議会		水道事業運営審議会
	総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会・議会報編集委員会	30日	国民健康保険事業の運営に関する協議会
9日	本会議 一般質問	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>永年在職議員表彰</p> <p>第97回全国市議会議長会定期総会において表彰された議員に対し、6月7日の本会議前に表彰状の伝達式を行いました。</p> <p>10年在職議員表彰</p> <p>磯野 典正 議員 鈴木 克己 議員 戸坂 健一 議員</p> </div>	
10日	本会議 一般質問		
11日	本会議 質疑		
14日	総務文教常任委員会		
15日	産業厚生常任委員会		
16日	観光商工審議会		
17日	本会議 最終日・全員説明会		
	議会報編集委員会・議会改革検討委員会		

編集後記

今号の特集ページで対談した日本武道館研修センターは今年でオープン50周年。世界で活躍する選手達の合宿先として、また武道を通しての青少年育成や勝浦市の地域振興にも大きな役割を果たしています。先頭に立って誘致をすすめた山口吉暉元市長の先見の明に敬意を表したいと思います。

議会報編集委員会委員長 佐藤 啓史

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!



勝浦カッピー